

## 【実証実験 輸送概要】

## 1. 輸送日

2022年7月1日（金）～ 当面の間（※日曜日・年末年始等は除く）  
 ※運行状況等により輸送を中止または一般車両で輸送する場合があります。

## 2. 輸送列車

「さくらライナー」

（平日 福神駅10:55発→大阪阿部野橋駅11:51着）

（土休日 福神駅11:55発→大阪阿部野橋駅12:51着）

## 3. 輸送ルート

「近鉄ふあーむ 花吉野」→福神駅→大阪阿部野橋駅→近鉄百貨店あべのハルカス近鉄本店

## 4. 輸送フロー

- (1) 「近鉄ふあーむ 花吉野」の担当スタッフが「さくらライナー」客室内の座席（2席）へ商品を積み込む
- (2) 「さくらライナー」にて、「近鉄ふあーむ 花吉野」最寄り駅の福神駅から大阪阿部野橋駅まで輸送
- (3) 近畿配送サービス㈱が「さくらライナー」から商品をおろし、近鉄百貨店あべのハルカス近鉄本店まで配達する



「さくらライナー」からの荷おろしの様子（イメージ）

## 5. 輸送・販売商品

ミディトマト、フリルレタス等の野菜 [ミディトマト約20袋/日（予定）]  
 ※収穫状況によって品種および数量が変動する場合があります。

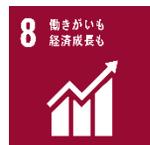
## 6. 販売店舗名・場所

「ハルチカマルシェ」（近鉄百貨店あべのハルカス近鉄本店ウイング館地下2階）

## 7. 期待される効果

本実証実験の取り組みに以下のような効果を期待します。

近鉄	旅客鉄道ネットワークを活用した貨客混載輸送の提供による、新たな輸送需要の掘り起こし。
近鉄不動産	鉄道輸送を利用することで、輸送時間を短縮でき新鮮な野菜を届けることができる。
近鉄百貨店	「収穫当日の野菜」という付加価値のある商品を販売できる。
お客さま	沿線地域で生産された新鮮な野菜をご購入いただける。
SDGs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モーダルシフトによるドライバー不足の解消 （8. 働きがいも経済成長も）</li> <li>・ 沿線に住む人々に新鮮な農産物を供給 （11. 住み続けられるまちづくりを）</li> <li>・ モーダルシフトによる環境負荷低減 （13. 気候変動に具体的な対策を）</li> </ul>



## 【参考】

### ・さくらライナー

南大阪線・吉野線を運転する特急で、桜の名所吉野がモチーフです。外観はさくら色を基調にカラーリング。運転室後部には展望スペースを、温水洗浄便座を装備したトイレや車いす対応の多目的トイレも設置して、お客様により優しい車両になっています。デラックス車両を1編成に1両導入しています。



### ・近鉄ふぁーむ 花吉野

奈良県大淀町の「近鉄ふぁーむ 花吉野」で、植物工場、農業用ハウスを運営しています。植物工場では、栽培期間中は農薬を一切使わない水耕式システムを採用し、農業用ハウスでは、水分量をコントロールして糖度を高めたトマトを生産しています。



### ・ハルチカマルシェ

近鉄百貨店あべのハルカス近鉄本店ウイング館地下2階において、奈良県や三重県など近鉄沿線の高鮮度の野菜、農産物、加工品約100種を販売するショップです。

宇陀市や松阪市など沿線地域で生産された農産物を直売所から直接仕入れ、収穫から店頭へ並ぶまでの時間を短縮することで、より新鮮な状態でお客様にお届けしています。また、「朝採れ野菜販売」では奈良県で当日の朝に収穫した瑞々しさ抜群の野菜が午後には店頭へ並び、購入いただけるほか、手作りこんにゃくなど生産者こだわりの加工品にも注目です。

「ハルチカマルシェ」では、近鉄百貨店が生産者とお客様とを結ぶネットワークのハブとなり、沿線ならではのモノをお伝えしていくことにより農村地域の活性化、沿線価値向上を目指します。



### ・名阪特急「アーバンライナー」を活用した当日配送サービスについて

近鉄では、2021年7月1日より福山通運株式会社様との協業により、名阪特急「アーバンライナー」を活用した法人のお客様向けの貨客混載事業を開始し、大阪市内⇄名古屋市内間相互で軽貨物の当日配送を実施しています。